

ドッグラン

利用者増加に伴い 増設を図れ

「仮設エリアの本設化をしていく」

馬場栄一郎 議員



議員 彩湖・道満グリーンパークのドッグラン

は、開設以来、4年が経過したが、最近の利用状況は。

環境経済部長 土日になると多くの利用者でにぎわっている。開設から24年度までの累計利用者登録数は1万3178人となっている。



ドッグラン (彩湖・道満グリーンパーク)

議員 開設時より大変好評で、施設利用者の数が年々増加している。現在のドッグランでは、かなり手狭になっていく印象を受けるが、増設の考えは。

環境経済部長 一般の公園利用者との公平性に注意し、芝養生の仮設エリア880㎡を、本設化に向け荒川上流河川事務所と協議していく。

学校開放の拡大を 議員 スポーツ振興を目的に校庭や体育館の開放時間の拡大を図ってはどうか。

市民生活部長 近隣住民の理解が必要。スポーツ振興基本計画の見直しを行う予定であり、各種スポーツ施設の使い方等を検討する中で、拡大も検討していく。

議員 地域コミュニティ活性化を目的に、学校図書室を一般開放しては。

教育部長 学校施設は市の財産であるので、市民の有意義な使用に資するのあれば、開放もあり得る。警備システム、人的配置の検討などコスト増を勘案しながら研究する。

水害対策

洪水避難ビルを 設定してはどうか

「地域防災計画の中で議論していく」

中山祐介 議員



議員 ハザードマップに記載されている避難所は、水没してしまうものも多い。普通の民間の共同住宅など、水につからず避難することができるところを市は把握しているか。

危機管理監 有田市の浸水特性や荒川氾濫のシミュレーション動画のほか、各町会の地図を掲載したポータルサイトを作成し、情報の共有を図る。

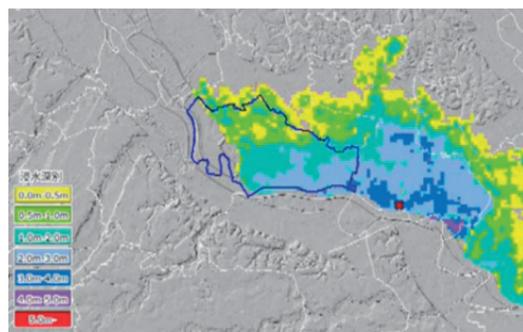
危機管理監 水害ワークショップで、緊急一時避難場所として、民間施設と町会との間で覚書を締結し、リーフレットを作成しており、これを町会内の世帯に配布し、周知している。

議員 町会未加入者への周知はどつするののか。

危機管理監 戸田市の

ではないか。 危機管理監 有用であるが課題もあるため、水害ワークショップの中で議論していく。

その他の質問 Q. 自主防災会の役割は。 A. 地域防災の担い手として減災と地域防災力向上に取り組んでもらうことを期待している。



荒川の氾濫による浸水シミュレーション ※市ホームページでアニメーション画像をのぞいていただけます。

在宅福祉

高齢者移送サービス 助成制度の改善を

「サービス向上に向け検討する」

花井伸子 議員

※65歳以上で寝たきり・車椅子生活の方々が、病院や施設等に特殊車両を使用する際に、1回2000円の助成利用券を年間24枚給付する制度。



議員 市内登録事業所は3カ所しかなく地域的に偏りがある。登録業者をふやすこと。また、事業所間の利用料金に大差があり、安く抑えられないか。

福祉部長 早速、調査し、市との契約を働きかける。近くに事業者がふえることで、移送距離が短縮され、料金も安くなると考える。

議員 自宅と病院の往

復・片道の利用に限定せず、医者が認める必要な場所にも立ち寄れるように改善を。

福祉部長 院外薬局等必要な場所への立ち寄り認めることは、利用者のサービス向上につながるから検討する。

議員 月2回の枠を外し、年間24枚に改善を。



移送サービスは生活の支えです

ドッグラン…飼い犬を自由に運動させられる専用の広場。

遊び場

小学生に校庭や体育館を 開放してはどうか

「モデル事業について検討していく」

真木大輔 議員



モデル事業の早期実施を要望します

議員 田市の小学生は、学校が終わるとすぐ

に帰宅しなければならず、帰宅した後の遊び場にも困っている。全国には、平日の放課後や夏休みなどに、指

導員の管理のもと校庭や体育館等を「自由遊びの場」としてすべての小学生に開放し、さらに児童との連携や一体化を図っている自治体がある。まずは幾つかの小学校で、「小学生への学校施設開放」をモデル事業として実施してはどうか。

教育部長 管理体制の構築等の研究を関係課と連携して行っていく。

子ども青少年部長 課題はあるが、先行して実施している自治体を参考にし、モデル事業を検討していく。

イギリスの小学校教科書の図書館所蔵を



放課後に体育館や校庭で自由に遊ぶ小学生

また、教育的効果が高いことから、本場の英語を楽しく学べる教材として日本においても大変人気がある。①図書館に所蔵してはどうか②小学校の英語教材として活用してはどうか。

教育部長 ①図書館に所蔵することは有効なことだと思うので、今後検討する②すぐに教材として活用することは難しい。英語教育の推進委員会に教材資料として紹介する。

ハザードマップ…洪水や津波など災害発生時に、市民が安全に避難できるよう被害の予想区域や程度、避難場所などを示した地図。

ワークショップ…さまざまな立場の人々が集まって、自由に意見を出し合い、互いの考えを尊重しながら、意見や提案をまとめ上げていく場。